

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2017～2018 年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 高橋 秀樹	第2562例会	2018/ 6/11
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 染谷 義一	発 行 日	2018/ 6/18
例会日：月曜日 12:30～13:30	公共イメージ 向上委員会 石丸 主憲	週 報 当 番	石丸 主憲

会長あいさつ

会長 高橋 秀樹



皆さんこんにちは。浦和 RC の服部一人様、ようこそメーキャップにお越しいただきました。心より歓迎いたします。前回の例会では、「今後の親睦活動について」のテーマで、テーブル毎に活発に意見交換をしていただき、色んな案を出していただきまして本当にありがとうございました。

さて、本日の「ロータリーあれこれ」は、例会毎に大竹出席委員長より出席率が情けないとお叱りを受けていますので、「例会出席」についてお話ししたいと思います。クラブ年度計画書の P 9 4、クラブの定款の第 1 2 条出席の第一節一般規程に「例会時間の 6 0 % 出席することで出席とみなす」と規定されています。皆さんこの規定をご存知でしたでしょうか。私は、初めてこの規定を見た時、例会時間をフルにいないと出席とみなさないというのは厳し過ぎる。遅刻や早退になるので出席しないという事にならないように、2 0 分程度の遅刻や早退であっても出席したとみなすことで例会への出席に拘って欲しいという意味なのだろうと思っていました。皆さんはどう思われますか？

そこで、出席についての 6 0 % ルールが何故できたのかについて調べてみました。実は、R I が、ロータリアンに出席の大切さを理解させるためには、ロータリアンに例会出席の競争をさせたら良いだろうと考え、アメリカとカナダという非常に広い地域を一単位としてクラブの出席競争を行いました。日本はこの競争には参加していないようです。ところで、競争するので、フェ

アなルールの基でなければなりません。会員数が 1 0 0 名のクラブで 1 人が欠席すると出席率は 1 % 減少しますが 5 0 名のクラブだと 2 %、2 5 名のクラブだと 4 % にもなってしまうのは不合理だということで、会員数 7 5 名～1 0 0 名を A グループ、会員数 5 0 名～7 5 名を B グループというようにグルーピングをし、その中で競争させたそうです。それで、出席の基準をどうしたかということです。例会に 1 分しか居なくても出席としてしまう恐れがある為、「恨みっこなしのルール」として、「例会時間の 6 0 % 在席すれば出席、それ未満だと欠席」として、定款上のルールとして採用したのです。これは、ロータリアンを信用していないことを前提として作ったルールであり、しかも競争の論理を定款上のルールとして採用してしまったことは極めて大きな問題だと思います。これ迄規程審議会で議論されたかどうかは知りませんが、現在も定款にそのまま居座り続けているというのは如何なものかと強く感じます。

それは兎も角、2 0 分程度の遅刻や早退になるような場合でも欠席はせず、例会場に顔を出していただいて、クラブがやろうとしている奉仕事業や、今後のスケジュールを知っていただき、また仲間との親睦を図り、信頼関係作りを行っていただきたいと思います。特に、第 2、第 4 例会後の情報交換会への出席もお願いいたします。

そして、メインプログラムは、各部門の年度総括の発表です。部門委員長と各委員長の皆様で演台の処までお出でいただき、部門委員長に代表で発表していただきたいと思います。きわめて短い時間ではございますが、何卒よろしく願いいたします。

ロータリー家族とともに行動しともに感動する (55周年全員で前進するー全・進ー)

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: <http://rc-omiya-west.com/>



お客様ご紹介 小沢 孝 副会長

浦和RC

服部地質調査(株) 代表取締役

服部 一人 様

情報交換会 発起人

高橋 誠一 会員

情報交換会開催のお知らせ



幹事報告

幹事

染谷 義一 会員



浦和ロータリークラブから服部様ようこそお越し頂きました。心から歓迎をいたします。

今年は1実行委員会、7部門、18委員会、44例会会でスタートし、南投RC55周年記念式典参加を合わせ、計45例会をもって2017-2018年度も終了いたします。

本日、この6月第二例会におきまして、年度総括を例会主題とさせて頂きました。

各部門、持ち時間4分程であります。各部門委員長様、委員長様、総括をお願いいたします。

委員長報告

わいわい塾 塾長

荒井 伸夫 会員

6/4(月)開催

第2回わいわい塾の報告



先週6月4日に第2回目の部会活動、ロータリーわいわい塾を開催しました。前回は「ロータリーの奉仕の理念」と少々堅かったので、今回は「大宮西クラブの歴史を振り返る」とし、大竹会員、林会員、吉田(暎)会員の三名のベテランパスト会長にゲスト参加していただき、大宮西クラブの誕生から佐野ガバナー輩出を経てラオス村委員会まで、当クラブの歴史を話していただきました。その後、食事、お酒を交えての質問タイムでは、なかなか鋭い質問もありベテランもタジタジするところがあり、参加者全員が発言し大いに盛り上がりました。終会となる頃にはベテラン会員も新会員も打ち解けて名残惜しそうな雰囲気でした。老荘青の垣根が払われてその融和が図られたのではないかなと思いました。ゲスト参加の御三名、参加頂いた大勢の部会員に感謝します。

なお、部会開催のご案内は登録いただいた部会員の方に発信しています。希望者は是非わいわい塾に登録してください。いつでも受け付けています。

米山功労者感謝状贈呈

第5回 米山功労者

大竹 庄藏 会員



ロータリーの友の解説

公共イメージ向上委員会

石丸 主憲 会員



横組み

「ライズリーRI会長メッセージ」P3

ロータリーのテーマを選ぶことは次年度国際ロータリーの会長にとって大変栄誉なことであり、課題でもあるようです。過去のテーマを振り返ると、歴代の会長たちがみたロータリー、彼らが考えた世界におけるロータリー、望んだロータリーが見えてきます。ライズリー会長は、テーマ選定の際、迷わず現在のテーマ「変化をもたらす」としたそうです。この短いフレーズは、私たちが今行っていることだけではなく、強く望んでいることについても当てはまります。支援し、世界をほんの少し良くしていこうと考えているのです。ライズリーRI会長が2年間のあいだでロータリーが変化をもたらす行動を起こしたことを多く見てきました。アメリカ・カリフォルニアでの山火事の際の支援、グアテマラでの支援、イスラエルでの支援等、多くの方々に変化をもたらしました。

そして植樹。ロータリアン一人1本の木を植えることで120万本という目標を大いに上回ることができました。多くのロータリアンが実現された偉大な奉仕の数々に心から感謝致します。との事でした。P8～

8ページから、ライズリー会長が呼びかけていた植樹について、各地区やクラブでの植樹活動の一部が紹介されています。ご一読ください。

P12～

植樹にまつわる話で、原爆が投下された広島で、草

木も生えないと言われていた地から芽吹いた木々を長年守り続け、被爆樹木と名付け苗木を国内外に広めている活動があります。広島南RCから東京米山友愛RCに移籍された川妻氏が中心となって活動されています。喜多方RCの佐原氏がこの活動に心を打たれ、東日本大震災以降、風評被害や福島第一原発事故の影響を受け続けている福島に、川妻氏の協力のもと被爆樹木を贈った話が記載されています。ご一読ください。

P 2 3 ~

米山記念奨学事業のあゆみとして、八潮RCで元国際ロータリーの会長を務められた田中作次氏の記事が掲載されています。ご自身が会長を務められた際のフォーラムをきっかけにミャンマー米山学友会が立ち上がり、その際に届けた寄付金で田中作次奨学金が設けられ、日本語を学ぶ若者たちを支援しているという記事です。

P 2 9 ~

ニュージェネレーションの記事で、埼玉大学大学院生で中国の米山奨学生の記事が紹介されています。

縦組み

P 1 6 ~ 友愛の広場

次年度RIテーマについての記載があります。日本語訳で「インスピレーションになろう」と発表されましたが、翻訳の意味がわからないという声が多いそうです。自分なりに解釈すると、「人の心に火をつけるリーダーになろう、ロータリアンの心を奮い立たせよう、モチベーションを高めるリーダーになろう」と考えるがどうだろう？という記事でした。

P 1 8 ~ 卓話の泉

ブルーライトにご注意という記事を紹介させていただきます。

現代のパソコンやスマートフォン、LED照明等から発生するブルーライトが我々の体に影響を及ぼす可能性があるという話です。あまりブルーライトを多く浴びすぎると快適な睡眠が得られなくなる可能性があるそうです。睡眠障害がある方は、ブルーライトとの付き合い方を考え、作業を短縮する、ブルーライトカットのめがね、食生活の改善などが良いそうです。

P 2 4 ~ ロータリーアットワーク

上尾RCの記事、障害者支援施設の見学という記事が掲載されています。

P 3 1 ~

ロータリーの友を読んで、原稿への意見や感想、エールが記載されるページです。下部分に、3月号浦和東の記事に浦和中RCの方が感想を投稿され、掲載されております。

クラブ協議会 年度総括



クラブ管理運営部門

部門委員長
新井 清太 会員

管理運営部門は藤池委員長のプログラム委員会、大竹委員長の出席委員会、井上委員長の親睦委員会で頑張りました。一年間ありがとうございました。

出席委員会 委員長
大竹 庄藏 会員



親睦委員会 委員長
井上 勝美 会員



長期計画特別委員会 55周年記念事業実行委員会

委員長
内山 泰成 会員

長期計画委員会では戦略計画の策定や改善策の検討、そしてディスカッション例会の実施を行いました。55周年では高橋会長の今年度の『ロータリー家族とともに行動とともに感動する』のスローガンに沿い、クラブ内の充実をはかることを目的として、多くの家族例会や記念事業を実施いたしました。55周年記念例会及び記念事業を実施して頂いた各委員会の委員長様、そして、素晴らしいクラブ運営をして頂いた高橋会長、染谷幹事、最後になりましたが、ご協力いただいた会員諸兄に心より御礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



奉仕プロジェクト部門

部門委員長
小沢 孝 会員

1年間の奉仕プロジェクト部門の報告を致します。まず12月にテーブルディスカッションを行いました。貴重なご意見を頂きました。各委員長に発表して頂きます。本日は山崎委員長が欠席のため代わりに発表いたします。職業奉仕委員会では、地区セミナーの取りまとめ、会員名刺の作成等の活動を行い

ました。1年間ご理解ご協力ありがとうございました。では各委員長、宜しくお願いします。

職業奉仕委員会 委員長
山崎 一祥 会員

社会奉仕委員会 委員長
小林 政良 会員

国際奉仕委員会 委員長
竹内 雅人 会員

シスタークラブ委員会
委員長
渋谷 廣慶 会員



クラブ会員研修部門

部門委員長
木本 栄一 会員

今年度の活動詳細につきましては会員研修委員会の報告をお読み下さい。小島委員長には委員会の活動に大変骨を折って頂きありがとうございました。深く感謝を申し上げます。また高橋会長の例会挨拶時のロータリーあれこれも大変参考になりました。今年度は荒井伸夫塾長のワイワイ塾も活動を始めました。ロータリーの理解に大変参考になります。会員の皆様の振るっての参加を歓迎致します。今年度の活動に際して会員皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

会員研修委員会 委員長
小島 徹 会員



公共イメージ部門

部門委員長
小木曾 賢己 会員

地区方針により、今年度は委員会の名称を従来の「広報・雑誌」「クラブ会報」という二つの委員会を統合し、公共イメージ部門・公共イメージ向上委員

会として、一本化されました。

毎回の例会時における卓話・スピーチの原稿収集、写真撮影、資料のポスティング作業、毎月のロータリーの友の解説、といった通常業務に加え、委員会主催のグループディスカッションを行い、ロータリーの認知度向上に向けて討論していただきました。事業開催時には全員ロータリーベストを着用、ポリオの寄付にはマスコット「ロータリーみらいくん」を出動させ、又女子部会の清掃活動に専用の旗を用意するなど、大宮西ロータリークラブの様々な奉仕活動の広報に努めて参りました。

お陰様でピンクリボン例会にはテレビにロータリーベストを着用した多くのロータリアンの姿が放映され、鉄道博物館ナイトミュージアムでは、雑誌に記事が記載され、記念に残りました。

一時期事務局の交代により週報作成の業務が飛び込んできたこともありましたが、石丸委員長以下各委員の皆様のご尽力により無事年度を終える事が出来、部門委員長として皆様に感謝申し上げます。

公共イメージ向上委員会
委員長
石丸 主憲 会員



会員増強維持部門

部門委員長
高橋 誠一 会員

今年は目標の130名が達成できず、非常に残念でした。増強については、私は会長をつとめて以降の約7年間増強委員をやっておりますが、当時の40名程度から今は120名までとかなり増えました。例会に出席すると多くのメンバーと会え、非常に活発になったように思います。メンバーが多ければ多くの情報も入ってきてビジネスにも繋がっていきます。次年度の増強委員の池田さんと吉田さんのお二人にもこの流れを継承していただきますよう、よろしくお願い致します。

会員増強維持委員会 委員長
結城 剛 会員



会員選考委員会 委員長
新藤 耕四郎 委員





財団支援部門

部門委員長
荒井 伸夫 会員

1917年アーチ・クランフが「世界でよいことをしよう」とR財団を提唱してから100年。今年度も皆様のご協力を得て、寄附集めとプログラムへの参加という財団活動を行うことができました。

◎ロータリー財団委員会・・・榎本貞寿委員長

R財団への寄付額は目標の100%を達成しました。R財団月間例会で、R財団の仕組みを部門委員長が分かりやすく説明しました。

◎グローバル補助金委員会・・・渋谷廣慶委員長

先に補助金ありきではなく、どんな奉仕をしたいか、できるかを皆で考え、それがG補助金に適合するよう調査研究を引き続き続けます。

◎地区補助金委員会・・・新藤栄介委員長

地区補助金では大宮ろう学園へiPadを寄贈してIT授業の推進に協力し、特に今年度は特別枠補助金を活用してラオス小児病院支援事業でラオスに行き、医療用消耗品の寄贈、子供たちへおもちゃをプレゼントしてきました。

◎米山記念奨学委員会・・・吉田暎治委員長

米山財団への寄付額は目標の100%を達成しました。ネパールからシャキヤ・スラクシャさんを奨学生として1年間受け入れました。次年度はマレーシアのナジム君を受け入れることになっています。2月には米山記念奨学会財団設立50周年記念式典（ホテルグランドニッコー東京台場）に出席して、改めて米山財団事業の人材育成を通じた世界平和への創造構築の意義深さを実感しました。

ロータリー財団委員会
委員長
榎本 貞寿 会員



地区補助金委員会 委員長
新藤 栄介 会員



グローバル補助金委員会
委員長
渋谷 廣慶 会員



青少年奉仕部門

部門委員長
伊田 雄二郎 会員

当部門は青少年交換とインターアクトの2部門で構成しております。それぞれに付きまして、吉田奉行委員長と高橋真貴子委員長から発表いたします。

青少年奉仕委員会 委員長
吉田 奉行 会員



インターアクト委員会
委員長
高橋 真貴子 会員

